

杉並区交流協会では毎年世界の国を紹介する「海外文化セミナー」を開催しています。今年には外交関係樹立30周年を記念して、ブータンを取り上げます。

海外文化セミナー～ブータン～ 外務省「日本・ブータン外交関係樹立30周年記念事業」

11/26(土) 13:00～17:00 高井戸地域区民センター 3階 体育室(杉並区高井戸東3-7-5)

関健作氏 講演会

「幸せの国」～ブータンに暮らす人々の生き方～ 14:30～16:00(予定)

幸せの国ブータンで体育教師として3年間を過ごした後、写真家となってブータンの魅力を伝え続ける関健作氏。テレビや雑誌では紹介されない地元の人々との愉快なエピソード、シンプルな暮らしの中に息づく知恵…。



© KENSAKU SEKI

ブータンと関わる中で魅せられた、彼らの優い暮らしを写真とともにお話しします。

※車での来場はご遠慮ください。

- 申込み不要・参加費無料
- 定員：150名 ●共催：杉並区 ●後援：国際協力機構(JICA)、日本ブータン友好協会
- 協力：ブータン政府観光局、青年海外協力協会(JOICA)

◎杉並区交流協会 ☎03-5378-8833 ☎03-5378-8844 ✉info@suginami-kouryu.org



同時開催 関健作氏 写真展 「ブータンに生きる人々」 入場無料

profile 杉並区在住。2006年、順天堂大学・スポーツ健康科学部を卒業。2007年からJICA青年海外協力隊の体育教師としてブータンの小中学校で3年間教鞭をとる。2010年、帰国。小学校の教員をしながら写真展を開催。現在、写真家の道を選び、ブータン、チベット文化圏に住む人々をテーマに撮影している。日本で唯一のソカ語(ブータンの公用語)翻訳、コーディネーターでもある。

写真展の他、ブータン製品販売や、民族衣装「ゴ」[キラ]の着付け体験も行います。

ブータンの宿

ブータンへ旅行するためには、日本や現地の旅行会社が手配するツアーに参加することになります(自由旅行は原則不可)。現地でのガイドや移動の車、宿、食事をすべて含む1日あたりの料金が決まっています(約250ドル)。お勤めなのが中部にあるポプジカ谷。ヒマラヤを越えて飛来するオグロツルが越冬する場所として有名です。住民は景観やツルの生息環境の保護のために、電線や電柱がない暮らしをしています。



kyoichi photography

そのポプジカ谷にあるデワチエンホテル(Dewachen Hotel)は雄大なポプジカ谷が一望できるお勤めの宿です。テレビもなく、Wi-Fiも使えませんが、それを不便ととらえるのではなく、大自然にただひたすら向き合う。それはきっと贅沢な時間となるはず。 ☎http://www.dewachenhotel.com

◎ブータン政府観光局 ☎http://www.travel-to-bhutan.jp

写真提供：みたけ山観光協会



宿坊

「丸山荘」「駒鳥山荘」

東京都青梅市

丸山荘
●住所・宿泊予約
〒198-0175 東京都青梅市御岳山51 ☎0428-78-8441
●料金 8,400円～
☎http://www7.plala.or.jp/mitake/

駒鳥山荘
●住所・宿泊予約
〒198-0175 東京都青梅市御岳山155 ☎0428-78-8472
●料金
1泊2食 8,400円ほか※10室
☎http://www.komadori.com/

●アクセス
JR御嶽駅から西東京バス「ケーブル下行き」にて終点下車、ケーブルカーにて御岳山駅下車
◎青梅市観光協会 ☎0428-24-2481

**雲上の宿坊で
自然と歴史にふれる**
御岳山は狭窪駅から電車とケーブルカーで約2時間、都心からのアクセスの良さから多くのハイカーが訪れます。標高は929mで、山頂には紀元前91年建立とも伝えられる武蔵御嶽神社が鎮座し、古くから山岳信仰の場として知られています。神社の下には長い歴史を持つ宿坊があり、現在は23軒がそれぞれの特色を生かして参拝者を迎えています。
ケーブルカーを降りて最初に目にする大きな長屋門が目印の宿坊が丸山荘。眺望が素晴らしい、御岳山の四季折々の景色を楽しめること、山菜や手作り野菜、川魚など自然の食材を生かした食事が人気です。御嶽神社のすぐ下にある駒鳥山荘は、家庭的な雰囲気でお家族連れや大学生が多く、最近では、外国の方も増えているそうです。また、滝行体験やムササビ観察、夜景ツアーなども行っているため泊まるだけでなく御岳山をもっと楽しみたいという方にもお勧めです。

キャンプ場

THE SOUTHERN PENINSULA ザ サザン ペニンシュラ

静岡県南伊豆町



●住所・宿泊予約 静岡県賀茂郡南伊豆町加納
●アクセス 伊豆急下田駅より車で約40分
●料金 お一人様 16,000円(税抜) / 2日間
※現在プレオープン期間中のためご利用は20名以上～のみ
☎VILLAGE INC. ☎0558-25-1060

**時間を忘れ、自然の中で
過ごす最高の贅沢。**
伊豆半島の最南端、石廊崎にほど近い山の中、伊豆ユネスコクラブが所有する広大な土地に、伊豆を中心にキャンプ場やレストランなどを運営するVILLAGE INC.が新たに立ち上げたのが「The Southern Peninsula」です。1日1組限定のプライベートキャンプ場を見守るのは、森の木々と鳥たちだけ。静かな森の中で、満天の星を見ながらのおかない仲間や同僚・大切な家族と過ごす時間は、他ではできない特別な体験になるでしょう。また広大な敷地を活用して、ウェディング、ガーデンパーティー、プライベートフェスも開催できます。

田舎食堂 & 旅人宿 天塩弥生駅

北海道名寄市弥生



▲駅の待合室はランチもできるダイニングに

●住所・宿泊予約
北海道名寄市
宇弥生166-4
☎090-8898-0397
●お昼の食堂営業
毎日(11:00～14:00)
●アクセス
JR名寄駅より車で15分
●料金
1泊2食 5,500円ほか
※男女別相部屋制
☎https://www.facebook.com/teya841

**旅人をあたたかく迎える
昔ながらの駅舎**
アスハラヤトウモロコシ、もち米などの農産物で有名な北海道名寄市。かつては鉄道交通の要所として宗谷本線の他に名寄本線と深名線という路線が通っていました。残念ながら深名線は1995年に廃線となりましたが、2016年3月、天塩弥生駅の跡地にその名も「天塩弥生駅」という宿がオープンしました。
これはJR北海道や京王電鉄で車掌を務めていた富岡達彦さんと由起子さん夫妻が運営する「駅」の宿。駅舎を復元した宿には、道内の駅舎や郵便局の解体資材が使われています。また、食堂も昔の待合室の雰囲気そのもの。日替わらない定食。が人気のランチタイムは、旅人だけでなく地域の住民にも人気です。
駅舎は男女別室のドミトリー形式。いつでも旅人を迎えられる「駅」の宿。という思いどおり、基本的に年中無休です(要予約)。平成生まれの若者や鉄道ファン以外のお客も増えていくとか。
駅長の由起子さんと主務助役の達彦さんは、「実際に線路を敷く」という目標に向かって、今日も笑顔で旅人を迎えています。

行ってみよう! 見よう!

青梅市

紅葉狩り

11月上旬～
12月上旬



秩父多摩甲斐国立公園の玄関口に位置する青梅市は、豊かな地形に恵まれ、長く紅葉を楽しむことができます。都心からほど近い大自然の中で、色づく秋を楽しみませんか。
●見ごろ 御岳山=11月上旬～中旬/御岳渓谷=11月中旬～下旬/釜の淵公園=11月下旬～12月上旬

◎青梅市観光協会 ☎0428-24-2481 ☎http://www.omekanko.gr.jp

だるま市

平成29年1/12(土)

青梅街道沿い

多摩の冬の風物詩。青梅街道の両側におよそ250の露店が立ち並び、現代では少なくなった“街道市”です。住吉神社前では「納めだるま」と呼ばれる、だるまのお焚き上げも。
●時間 13:30～19:00



南伊豆町

みなみの桜と菜の花まつり

平成29年2/10(金)～3/10(金) 青野川沿い

南伊豆町の下賀茂温泉を流れる青野川沿いには、早咲きで有名な「河津桜」が咲き乱れます。ピンク色の桜、黄色の菜の花、温泉の白い湯けむりとが織りなす景色は春ならではの。期間中は、毎日ライトアップを実施。青野川の川面に映る夜桜は息をのむ美しさです。そのほか菜の花結婚式、夜桜マラソン、伊勢海老味噌汁サービスデーなどのイベントが実施されます。南伊豆で、ひと足早く春の訪れを感じてください。
◎南伊豆町観光協会 ☎0558-62-0141



小千谷市

おぢや風船一揆

平成29年2/25(土)・26(日)

西中会場(競技)、平沢会場(イベント)

カラフルな熱気球が真っ白な雪原に浮かぶ雪国ならではの白と光の祭典。スタートと同時に、約40機のカラフルな熱気球が次々と大空に飛び立つ競技フライトは圧巻です。日本を代表する熱気球大会「日本海カップ・クロスカントリー選手権」を兼ねて開催されます。
◎小千谷観光協会 ☎0528-83-3512 ☎http://www.ojiyakanko.com/

